

「障害者差別解消法の見直しの課題 —障害平等研修と障害の社会モデル」

日時 2019年11月30日(土)
13:00 - 16:00

会場 東京大学本郷キャンパス

経済学研究科棟 地下1階第一教室

入場無料

2013年に成立し、2016年から施行されている「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)の見直しの検討が進められています。来年、2020年に予定されている日本の障害者権利条約の初回審査に向けても、この法律を同条約に対応した形に改正することは不可欠です。障害平等研修(DET)は、その障害者差別解消法を実施するための研修として推進されてきました。DETは、障害者の社会参加や多様性に基づいた共生社会を創ることを目的として、障害者自身がファシリテーターとなって進めるワークショップ型の研修です。障害の社会モデルに基づく、DETの新たな教材動画「I am you」を紹介します。

共生社会づくりのために、障害者差別解消法の見直しや障害平等研修に、ご関心のある皆様のこの公開講座へのご参加を歓迎します。

プログラム

13:00 開会の挨拶 松井彰彦(東京大学経済学研究科教授)

13:05 第1報告「障害者差別解消法見直しの課題—障害者権利条約の初審査に向けて」
池原毅和(DETフォーラム監事、弁護士)

13:55 指定発言 川内美彦(東洋大学人間科学総合研究所客員研究員)

14:45 第2報告「障害平等研修(DET)と社会モデル—新たな動画教材」
久野研二(DETフォーラム代表理事、国際協力機構国際協力専門員)

15:55 閉会の挨拶 久野研二

情報保障・アクセシビリティ 手話通訳と文字通訳があります。

その他の情報保障ご希望の方は登録フォームにてお知らせください。なおその場合できるだけお早めのご登録をお願いいたします。

主催: 東京大学REDDY(科研費17H00978「多様性の経済学」(研究代表者: 松井彰彦))

共催: 特定非営利活動法人 障害平等研修フォーラム

科研費「東アジアにおける障害者権利条約の実施」(研究代表者: 長瀬修)

参加お申し込みは

<http://www.reddy.e.u-tokyo.ac.jp/> より

REDDY公開講座ページへ

お問合せ: reddy@e.u-tokyo.ac.jp

科研費基盤研究(A)17H00978

「多様性の経済学」

研究代表者 東京大学大学院経済学研究科 松井彰彦

Research on Economy, Disability
多様性の経済学 and Diversity